



初！リモート交流会開催

令和2年度は、コロナウィルスの影響で人を集めての交流会が開催できませんでしたが、しかし、何とか地域貢献したいという思いから3月5日に純正会地域包括ケア推進委員会の委員と、地域の福祉機関の方と、オンライン交流会を開催いたしました。

【参加者】

- 外部より参加して頂いたのは、
- 社会福祉法人みなと福祉会
- あい居宅介護支援事業所
- 居宅介護支援事業所大当朗 ケアセンターまほろば
- 特別養護老人ホーム港寿楽苑

の方々です。その他法人内からも複数名ご参加頂き、委員の参加者と合わせまして18名がオンラインで顔を合わせて交流することができました。予想より多くの方に参加頂き感謝しております



【オンラインソフトの画面】

コロナウイルスに関する話題を共有

コロナに関して大変だったこと

・事業所の利用者がコロナ禍になりしばらくの間サービスを停止したので収入が減ってしまい大変だった

・マスクができない方（障害があつてマスクができない療養者）に、マスクをしてもらうのに苦労した

・職員だけでなく、家族に陽性者があると職員が2週間出勤できなくなり、残りの職員だけでまわすのが大変だった

・施設、病院は閉鎖するわけにいかないため、職員が感染しないように感染管理に苦労した

・もし職員にコロナがでたらと思うと不安で、毎日寝るときに祈った

・アルコールで手が荒れてしまった

・通勤中で、咳をするだけで、周囲の目が気になった

・マスクをずっとつけているので、相手の顔を忘れそうになる

・買いものいけなくて困った

・面会禁止のなか、本人の状況を家族に直接みてもらうことができないので、退院調整の時に説明が伝わりにくかった

・発熱に敏感になった。何度も熱を測ってしまう等で疲れた

コロナで気がついていた良かったこと

・一日一日を無事に過ごせることに感謝できるようなった

・マスクのおかげで、ひげを生やすイメーヂチェンジができた

・化粧をせずに外出ができる

・部屋の片づけがはかどった

・GOTOキャンペーンに行つて、普段泊まらないホテルに泊まれた

・オンラインツールを通じて、色んな人とつながることができた

・コロナのおかげで、自分自身が普段運動しないことに気が付いたのでウォーキングをしてダイエットができた

・外出、外食が減つてお金が溜まった

・コロナになった職員を、他の職員がせめなかつた

・研修がオンラインになる事が多く、本来なら遠くていけない研修にも参加できた

・外の会議が減つたおかげで、中の仕事はかどった

・オンラインツールで会議をする選択肢が広がった

・毎日体温を計ると自分の体温が低いことに気がついたので、低気というのは免疫が低下しているのだから低気というのを感じた

・普段、他者と会えることに幸せを感じる

・オンラインでの面会に立ち会つと、普段話さない患者さんがよく話したりする姿をみられて嬉しかった

・電話でしかお付き合いがなかつた方と、オンラインツールを使って顔と顔を合わせることができた

交流会への感想

・電話だけで話すのではなく、顔をみて話すことって大事だと思つた

・今回のような交流会に今後も参加していきたい

・本人を中心に考えると、多くの機関と交流を通じて支える必要があるのてこういう機会がもてたのは良かった

・コロナ禍で、退院時カンファレンスや認定調査がなかなかできなかったが、今回の交流会のようにオンラインツールを使えば情報の共有ができる事がわかつたよかつた

・病院の中で仕事をしていると地域がどうなっているかわからなくなる。今回色々な職種の方が来てくれたので多くの情報を得ることができて良かった

編集後記

地域包括ケア推進委員会としては地域の各機関と交流して地域課題を抽出することが目的の一つでした。コロナのため活動が縮小され、どのように各機関とつながっていくかが迷っていました。こうしてリモートで交流でき多くの皆さんとつながることができたのは本当に良かったと思えます。自由に意見交換でき、私たちにとても大変有意義なものとなりました。参加して頂いた方には本当に感謝いたします。第2弾も企画しますので是非皆さんご期待ください。

